

[成果情報名] フランネルフラワーの新品種「フェアリームーン」の育成

[要約] 「フェアリームーン」の花色はアクティノツス ヘリアンシ種では初となるクリーム色である。また、草姿および開花性は既存の県有品種「フェアリーホワイト」と同等であり、栽培方法は「フェアリーホワイト」に準ずる。

岐阜県農業技術センター・花き部・松古浩樹

[連絡先] 058-239-3132

[背景・ねらい]

岐阜県の主要品目であるフランネルフラワーは白花色しかなく花色のバリエーションの拡大が望まれている。平成21年に当センターで栽培中のフランネルフラワーからクリーム色の個体が発見されたため、これをもとに、自家採種と選抜を繰り返し、黄系品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

- 1 花の直径は、「エンジェルスター」の7.5cmよりも大きく、「フェアリーホワイト」の8.4cmと同等の8.3cmである（表1）。
- 2 総ほう片幅は、「エンジェルスター」の1cmよりも大きく、「フェアリーホワイト」と同じ1.2cmである（表1、図2）。
- 3 花軸長は、「フェアリーホワイト」の3.6cmよりも長く、「エンジェルスター」の6.2cmよりも短い4.8cmである（表1）。
- 4 総ほう片の主な色は、「フェアリーホワイト」と「エンジェルスター」の白色に対し、クリーム色である（表1）。
- 5 草姿は、「エンジェルスター」の「半直立」に対し、「フェアリーホワイト」と同じ「開張」である（表2、図1）。
- 6 草丈は、「エンジェルスター」の41cmよりも低く、「フェアリーホワイト」の25.6cmと同等の25.5cmである（表2）。
- 7 開花性は、「エンジェルスター」の「早」に対し、「フェアリーホワイト」と同じ「中」である（表2）。

[成果の活用・留意点]

- 1 本品種の花色の発色は低温期が優れるため、6～7月に播種して翌年の早春から春出荷が適する。
- 2 本品種は大鉢による高品質生産を行い、品質の優れるフランネルフラワーの高級ブランドを確立し、市場への浸透を図ると共に、フランネルフラワーのイメージアップにつなげる。
- 3 本品種は品種登録出願中である。

[具体的データ]

表1 フェアリームーンの花の特性

| 品種名           | 花の直径<br>[cm] | 花序の中心部の直径<br>[cm] | 総ほう片の幅<br>[cm] | 花序の軸の長さ<br>[cm] | 総ほう片の主な色<br>注) |
|---------------|--------------|-------------------|----------------|-----------------|----------------|
| フェアリームーン      | 8.3          | 1.8               | 1.2            | 4.8             | クリーム色(158B)    |
| フェアリーホワイト(対照) | 8.4          | 1.9               | 1.2            | 3.6             | 白色(155B)       |
| エンジェルスター(対照)  | 7.5          | 1.8               | 1.0            | 6.2             | 白色(155B)       |

注)カッコ内はRHSカラーチャートの色票番号

表2 フェアリームーンの形態特性と開花性

| 品種名           | 草姿  | 草丈<br>[cm] | 株の幅<br>[cm] | 節間長<br>[cm] | 開花性<br>注) | 葉身の長さ<br>[cm] |
|---------------|-----|------------|-------------|-------------|-----------|---------------|
| フェアリームーン      | 開張  | 25.5       | 28.3        | 4.3         | 中         | 6.1           |
| フェアリーホワイト(対照) | 開張  | 25.6       | 28.6        | 4.7         | 中         | 5.1           |
| エンジェルスター(対照)  | 半直立 | 41         | 26.5        | 4.9         | 早         | 4.3           |

注)栽培期間で開花性を分類 早：8か月、中：9か月、晩：10か月



図1 フェアリームーンの草姿



エンジェルスター フェアリームーン フェアリーホワイト  
図2 花および葉の比較

[その他]

課題名：花き主要品目の新品種育成

予算区分：県単

研究期間：2012-2014

研究担当者：松古浩樹